

## 平成30年度第1回四国中央市国際交流ビジョン委員会会議録

1. 開催日時 平成30年8月8日（水） 19時00分から20時15分
2. 場 所 四国中央市保健センター 1階 集団指導検診室
3. 出席者 (委員長) 深堀秀史 (副委員長) 加地令子  
(委員) 石川雄一、前島充、篠原祥子、秦賜佳、藤田昌子  
          チェルシー・コリンズ  

(敬称略)

(事務局) 政策部長 金崎佐和子、 地域振興課長 脇総二  
          地域振興課国際交流係 水本依里
4. 会議内容
  1. 開会
  2. 委嘱状の交付
  3. 政策部長あいさつ
  4. 自己紹介
  5. 委員長、副委員長選出及びあいさつ
  6. 審議事項
    - (1) 四国中央市国際化の現状について
    - (2) 平成26～29年度事業について
    - (3) 第2回四国中央市国際交流ビジョン委員会について
    - (4) その他
  7. 閉会
5. 会議録 次頁のとおり

会議録

	<p>新委員へ委嘱状の交付、政策部長あいさつ、自己紹介、委員長、副委員長の選出及びあいさつを終了後、審議事項(1)について事務局より説明</p> <p><b>説明後、質問や感想が述べられた。</b></p>
委員	<p>技能実習生は労働力か？</p>
事務局	<p>労働力ではない。技能実習生は日本で技術を習得し、自国でその技術を活かすために来日している方である。ただし、最近の報道で2019年4月から一定の条件を設けて建設、農業、介護、造船、宿泊の5分野で外国人を単純労働として受入を目指すであった。今後、本格受入に向けて、国会で制度改正が行われると思われる。</p>
部長	<p>日本全体が人手不足のため、外国人受入にどう対応していくか課題である。四国中央市国際交流ビジョンには多文化共生の施策が既にできているため、委員の皆様には今後、どのような事業に力をいれていけばいいか、ご意見を伺いたい。</p> <p>審議事項(2)について事務局より説明</p> <p><b>説明後、質問や感想が述べられた。</b></p>
委員	<p>目標3の海外展示、販売促進支援で平成26～29年度実績で機能紙研究会が ANEX へ出展とあるが、平成30年度だと思われる。ANEX は日本国内、国外で開催されている。平成26～29年度は国外で開催されており、機能紙研究会ではなく、企業単独で展示したと思われる。</p>
事務局	<p>申し訳ありません、間違っております。訂正いたします。</p>
委員	<p>四国中央市内に外国語対応可能な医療機関はあるのか？</p>
事務局	<p>えひめ医療情報ネットで四国中央市を検索したところ、該当はありません。</p>
委員	<p>四国中央市は医療機関が少ない。日本人でも休日にケガをしたとき、市外に行かなければならない。市内に休日対応や外国語対応の医療機関があるといい。</p>
委員	<p>知り合いの医療機関にベトナム人と思われる外国人が受診したが、コミュニケーションが取れず、大変苦勞したと聞いた。</p>
事務局	<p>市内の医療機関から外国語通訳の問い合わせがあり、医療機関も苦勞しているようだ。</p>
委員長	<p>市内在住外国人の中で最も多い外国人はベトナム人だが、コミュニケーションの言語は何語か？</p>
副委員長	<p>日本語ボランティア会の日本語教室で受講している技能実習生は母国で、数ヶ月日本語を学習した後、来日しているため、日本語でコミュニケーションを取っている。</p>
部長	<p>市内に24カ国の外国人が在住しているため、全ての言語に対応するのは難しい。防災等、外国人にわかるようにやさしい日本語で対応していくことが重要である。</p> <p>審議事項(3)、(4)について事務局より説明</p>

説明後、質問を受け付けるが質問なし。

以上で、平成30年度第1回四国中央市国際交流ビジョン委員会を閉会する。